Season3

Episode 1: A Conversation with the New IAQG President

|  |  |
| --- | --- |
| Susan Matson | 皆さん、こんにちは。ようこそ。お聞きいただいているのは、IAQGの公式ポッドキャスト「クオリティ・ホライズン」です。司会を務めますのはスーザン・マトソンです。そして、今日はエリック・ジェフリーズさんをお迎えしています。エリックさんは、ベル・テキストロン社のプロセス・インテグリティ担当シニア・マネージャーです。そして最近、IAQGの会長に就任されました。おめでとうございます。エリックさん、ようこそ。 |
| Eric Jefferies | ありがとうございます。こちらこそ、こちらに来られてとても嬉しいです。 |
| Susan Matson | ありがとうございます。新年、新会長、まさにエリックさんにお話を伺うのにふさわしい時期ですね。できれば、この機会に、リスナーの皆さんに、あなたとIAQGとの関わりについて、また、IAQGのリーダーシップや今後2年間の方向性に関するあなたの考えについて、少し背景をお話いただければと思います。 |
| Susan Matson | 始めましょうか？ |
| Eric Jefferies | もちろん。 |
| Susan Matson | 素晴らしい。ではまず、あなたについてお話いただけますか。あなたの経歴について教えてください。エリックさん、あなたはどのような方ですか？ |
| Eric Jefferies | 私は航空宇宙業界で約22年間働いています。私は、航空宇宙業界で働く専門家、民間パイロット、他の航空宇宙OEMで働く人々を家族に持つ環境で育ちました。そして、幼い頃から航空宇宙および防衛が大好きでした。ですから、この業界で働きたいと常に思っていました。 |
| Susan Matson | 素晴らしいですね。では、IAQGに参加するようになった経緯を教えていただけますか？ご家族の紹介ですか？それとも、仕事で関わるようになったのでしょうか？ |
| Eric Jefferies | いいえ、私はIAQGについてまったく何も知りませんでした。当時、投票権を持つメンバーとして、リック・ダウンズという方がいました。彼は、当時RMC登録管理委員会（現在はACOTに改称）の投票権を持つメンバーでした。 |
|  Eric Jefferies | そして、彼は私にこう言いました。「君はこれに関与する必要がある」と。私は出席し始め、最初の1年は最初の数回の会議に出席し、ただ吸収し、少し理解しようとしていました。それから徐々に深く関与し始め、できる限り関与しようとしました。 |
| Susan Matson | そうして徐々に深く関わるようになり、できる限り積極的に関わるようにしました。 そうして深く関わるようになったわけですが、当然、いきなり会長職に就いたわけではありませんよね。 それ以前にはどのような役職を務めていたのでしょうか？ 会長になる前に経験したことにはどのようなものがありましたか？ |
| Eric Jefferies | ええ、私は多くの役職を経験しました。 最初のステップは、RMCの投票メンバーとしてリックの後任になることでした。 それで、何年かそれを務めました。 それから、そのチーム内でボランティアの任務を引き受けるようになりました。最終的には3年間ほど、RMCが主催する年次監査人ワークショップのコーディネートと計画を手伝いました。その後、監査人レビューチームのサポートに携わり、最終的にはそのチームを2年間ほど率いることになりました。それが次の任務につながり、9104-3執筆チームに参加することになりました。 |
| Eric Jefferies | ちょうどその時、改訂作業が行われていたのです。私はその作業に2年ほど携わり、IDRのポジションに就き、その役割をサポートすることになりました。それらの役割を担っている間、私はいくつかの国際的な活動のサポートを始め、ICOTに関わるようになり、最終的にはICOTの議長となり、数年間その任務に就きました。 |
| Eric Jefferies | そして、もちろん、IAQGレベルでの多くの参加と経験を得ることができました。そして、それが現在の私の役割につながったのです。実は、それ以前に、私はアメリカの議長を務めていました。ですから、私はそれを2、3年務め、それがこの新しいIAQGの議長としての役割につながったのです。 |
| Eric Jefferies | 長い道のりでした。その過程で多くのことを学びましたし、非常に賢い人々のおかげで、さまざまな役割をこなすことができました。 |
| Susan Matson | リックに感謝の意を表する必要がありそうですね。あなたは長年ここにいらっしゃいます。IAQGについてお話いただけますか？私たちは現在どのような状況にあると思いますか？ 昨年10月には25周年を迎えました。ですから、最近では振り返る機会が多くありました。私たちは今どこにいると思いますか？ |
| Eric Jefferies | 航空、宇宙、防衛の分野における世界的な標準開発のリーダーとして認められていると思います。私たちのブランドは、ステークホルダーの間で非常に良く知られ、高い評価を得ていると思います。 |
| Eric Jefferies | DCMAから世界中の民間航空当局、NASAに至るまで、あらゆる関係者を巻き込むために多くの取り組みを行ってきました。 あらゆる部門で、関係者と協力し、支援を構築しようとしています。 そして、その取り組みにおいて、私たちは大きな進歩を遂げてきたと思います。 しかし、私たちの前には多くの機会が待ち構えていますよね。 |
| Eric Jefferies | 私たちは、業界内の改善を推進する標準規格の開発におけるグローバルリーダーとして知られていますが、 私たちは標準以上の存在です。ですから、標準を超えた次の分野が次の機会の領域であると思います。 |
| Eric Jefferies | 私たちはサプライチェーン管理ハンドブックを発行しており、これは広く利用されています。また、会員やサプライヤーに膨大な量のガイダンスを提供するリファレンスライブラリーもあります。改善を推進するAIMツールも現在利用可能ですが、これをさらに発展させる時が来たのではないでしょうか？ |
| Eric Jefferies | そして、これまでの製品で大きな成功を収めてきたので、次のステップに進む時が来たのではないでしょうか？ 私たちは、以下のことを確実にするための行動を取る必要があります。 私たちが持つ製品に対する信頼を維持し、それらの製品を改善しながら、同時に、私たちのステークホルダーや会員にとって価値を生み出す新しいものを導入し始めること。 |
| Susan Matson | その通りです。あなたは先ほど、いくつかの会議から戻ってきたばかりですね。経営陣との話し合いを継続していると思いますが、IAQGの品質の展望について話していることから、今後について、そして見通しについて触れましたね。しかし、具体化する予定のものはありますか？今年だけでも多くのことが起こっています。IAQGが今年実施する予定の事項で、注目すべきものは何でしょうか？ |
| Eric Jefferies | 私たちは、この1年を過渡期と捉えています。なぜなら、過去5年間にわたって取り組んできた多くの取り組みが、いよいよ完成に近づきつつあり、私たちに多くの機会をもたらすからです。しかし、もちろん、OASISですね？OASIS V3の実装は最終段階に近づいています。機能しています。現在、データベースには数千件の監査が保存されており、最終的な改善と編集作業を行っていますが、これはしばらく続くでしょう。しかし、本当に終わりに近づいています。 |
| Eric Jefferies | SDOプロセスを展開し、今年中に最初のIA標準を発行する予定です。さらに、他にも計画中です。つまり、新しいSDOプロセス全体が今年中に完全に展開されるということです。さらに、その外側では、次にどこに向かうかという話が出ていますね。 |
| Eric Jefferies | ですから、私たちは他の認定可能な標準規格についても検討しています。これはここ数年ほのめかしてはいるのですが、実際にはまだ何も実装していません。なぜなら、私たちはOASISに集中し、それが効果的に展開されることを確認することに重点を置いてきたからです。私たちは追加のトレーニングについても検討しています。ですから、全体としては、私たちの製品ポートフォリオを拡大し、すべての人に価値をもたらす方法を模索していると表現できるでしょう。 |
| Eric Jefferies | ですから、多くの機会があります。来月には欧州委員会との会議を予定しており、いくつかの事項を最終決定する予定です。しかし、先日の欧州委員会との会議で何が話し合われたかというご質問に戻りますが、私たちの戦略的優先事項は不変であることを確認しました。昨年、私たちは新たな体制を整えました。今後数年間、これが私たちの原動力となるでしょう。そのリストの一番上に挙げられているのは、堅牢な製品とサービスに対する信頼を確保することです。すでに触れましたが、現在の製品提供を強化し、より多くの価値をもたらすという真の機会があります。ですから、これが焦点となります。私たちはIAQGのエコシステム構築に取り組むつもりです。これは、これまでにお話ししてきた新しい取り組みの一部です。つまり、トレーニングです。これは、既存の製品ポートフォリオ以外のすべてです。私たちは、ステークホルダーとのパートナーシップを強化し続けます。 |
| Eric Jefferies | そして、すでにそれらのリストを挙げましたが、それらについては現在も多くの改善が継続中です。毎月会議が開催されています。世界中のどこかで、これらの組織が自分たちのニーズをよりよく理解し、私たちの提供するものの中で何が価値があるのかを理解しようとしています。そして、私たちが業界のニーズを満たし、改善を推進するだけでなく、 また、当社が事業を展開する規制環境にこれらを適合させ、新しい製品を提供する際には、ステークホルダーから受け入れられ、信頼されるように努めています。 |
|  Eric Jefferies | 私たちは引き続き人材に焦点を当てていきます。先ほどリックのような人々や私に影響を与えた人々について触れましたが、私たちの組織には会員やボランティアの中に素晴らしい人材が数多くいます。非常に高度な専門知識を持っています。私たちが重視しているのは、学習し、より効率的に業務を行い、その専門知識をより迅速に活用する方法を学ぶことです。 |
| Eric Jefferies | 私たちは、リリースするスピードを速める必要があります。そして、これらの新しい製品提供に着手し、これまでよりも迅速に市場に投入しようとしています。そして最後に、私たちはIAQGモデルの資産とリソースの影響力を拡大し、活用していくつもりです。ここで言う「活用する」とは、 |
| Eric Jefferies | 例えば、OASIS V3では、内部だけでなく、ステークホルダーや最終製品のユーザーとデータを共有し、改善を推進する上で役立てることができます。これまでになかった方法で、そのデータを利用できるようになるでしょう。これにより、業界内のパフォーマンスや、新製品開発に焦点を当てる際にどの分野をターゲットとするべきかについて、本当に理解が深まるでしょう。 |
|  Susan Matson | たくさんありますね。 これほどたくさんお話いただき、本当に感謝しています。 それらを5つに集約し、5つの戦略的方向性の柱として、信頼の確保、エコシステム、パートナーシップ、人材、影響力の範囲、そしてそのデータを活用できること、これほど多くの情報があります。 |
| Susan Matson | IAQGはグローバルであり、すべてをまとめ上げています。 それらをどのように集約し、分析し、そしてすべてのステークホルダーに価値を提供し続けるのでしょうか。 他に何か付け加えたいことはありますか？ これは、例えば、どのように関与するか、どこで何を見つけるかなど、その性質上、人々に知らせるためのあなたのプラットフォームです。 |
| Eric Jefferies | いいえ、私は、IAQGにとって今が非常にエキサイティングな時期であることを改めて強調したいと思います。私たちは、これまでになかった方法で影響力を拡大する機会を得ています。私たちは、過去25年間に起こったすべての出来事のように、素晴らしい仕事を成し遂げてきました。 |
| Eric Jefferies | ですから、私たちはそれを基盤として素晴らしい機会を得ていると思います。これまで誰も経験したことのないほど影響力を拡大し、すべての人々を巻き込んでいく。IAQGが持つリソースと人材に立ち返り、私たちは共に取り組んでいます。そして、もしあなたが私たちの戦略目標達成に協力したいとお考えであれば、ぜひ参加してください。 |
| Eric Jefferies | 必要なことは、会議に出席することだけです。皆で取り組むべき仕事はたくさんあります。そして、私たちは一緒にこれを実現します。 |
| Susan Matson | ありがとう、エリック。そして、いつも通り素晴らしい会話だった。リスナーを代表して、新しい役職とIAQGの次の章で最高の成果を収めることを願っている。素晴らしいことが起こるのが待ちきれない。以上がスーザン・マトソンで、次回まで「IAQG Quality Horizon」をお聞きください。ご安全に。 |